

忘れず、挺身己を忘れて國民の爲めに
犠牲者たる政治家こそ國民の翹望する
處である。政黨も非政黨も敢て介意す
る所でない、何時までも右手圓を書き
左平方を畫くが如き狀態より救ひ出さ
れんこと吾人の祈願する處である。デ
モクラシーの後に來るべきはファッシ
ヨ的氣分である、暴力的重壓策である
非似獨裁である、其後に來るべきもの
は何か歴史は繰返すも人類社會は進化
して一處不定である、其機を省察して
國民を指導し一國の使命を完ふするの
道や如何。



昭和七年度時局匡救土木事業の 成績を顧みて

岸 正 一

昭和七年度に於て起興せられたる産業振興、時局匡救工
事等國庫の補助を受け本縣に於て施行せし土木事業費は其
總額百貳拾壹萬六千貳百拾五圓であつて之に因り齎したる
成績を見るに救濟せられたる延人員は六拾參萬貳百六拾五

人に及んだのである隨て其影響する處は極めて廣汎であつて地方に蒙りたる惠澤の頗る甚大なる事を先以て感謝せねばならぬ、斯様な譯で其効果並事績の詳細を盡す事は逆も簡単には出來ないのであるから唯其一班を茲に御紹介する次第であります。

本縣は御承知の通水災を以て有名なる縣であつて此復舊費に祟られ大正七年頃より壹千數百萬圓の縣債を負ふて居るので縣自體は素より市町村に於ても亦一般縣民に於ても全國中比類のない程窮乏せる地方であつて其上數年來の不況は之に拍車を掛け下層階級の窮状は著敷深刻に陥つて失業者又は之に準する困窮者が續出するに至つたのであるが之等の日常生活の實狀は有體に報道する事を憚る程の悲慘なる状態であるそして之が忽ち各方面に影響したる事は申迄もない事であるが就中納稅成績に加速度的に反映して徵稅は次第々々に困難に陥つて來たのである今其一例を擧ぐれば東伯郡某村(特に村名を匿す)の如きは公課滯納の爲に差押處分を受けた者が全戸數五百三十戸の内實に四十戸の

多きに上り其他の各町村に於ても公課の一割や三割位の滯納は殆ど普通の有様で一面電燈は滅燈に續て料金の不拂と云ふ風に前途は實に失望的の不安状態が益々濃厚となつたのであるが匡救事業の施行に依り前述の如く六拾餘萬人が救濟せられたのであるから今迄の沈淪途上に在つた悲觀的の社會狀態は忽ち一轉して勞働精神を刺戟して所謂活を入れた様に社會狀態が明るく轉向したのである素より未だ以て充分とは行かざるも茲に順調なる縣民更正の緒光を見るに至つた事は事業效果の總括的事象である此一事にしても己に目的の大半を達成せしものと信するのであるが更に此效果が因となり果となつて各種の方面に好影響を及ぼせし事は本縣の爲誠に慶賀に堪へない次第である茲に其具體的事例の二三を摘出して紹介するならば次の通であります。

氣高郡大和村大字猪の子部落に於ては町村道猪の子玉津線中に「赤坂」と曰ふ高約百米程の峻坂があつて殊に峠に近い五十米程は恰も神社の石段の様に階段を造つて昇降して居るのであつて馬などは逆も通れない村民は朝夕之を越

べて約二十丁歩程の耕地に働いて生計を樹て、居るのであるが此赤坂が一大難所であるから附近の村では「猪の子部落には赤坂があるから娘を嫁にやらぬ」など云ふて居る程である其れ故に赤坂崎切下げ問題は村民の昔から熱望して止まない處ではあるが自力改修の力の足らざるを歎じつゝ、今日に至つたのである然るに今回の匡救事業の起興に依り多年の宿望を遂ぐる機運を迎へ總工費四千圓を以て第一期工事として先第一に崎の切下け（直高一五、六七米）を行ひ此不便の大部分を除いたので今後取付道路の改良と相俟て耕作上多大の便益を受くる事となつた而已ならず此嶮路に阻まれて久敷荒廢に任せてある耕地約十丁歩が此度の道路改修に依つて開墾即ち復舊せらるゝと云ふので大變なる活氣を呈するに至つて村民は更生の日の近きにある事を確信して希望に満ちつゝ朗かに家業に精勵しつゝある有様は他から見ても氣持の好いものであります。

又前記の公課滞納の爲差押戸數四十戸の内匡救事業の恩惠に浴して三十戸は納稅を爲し差押を解かれ又他の方面

に於て從來の公課滞納額の全部完納せし町村が八ヶ村ある事が判明した其他の町村に於ても納稅資力の無い様な細民が優先的に就労する様に大體割當が出來て居るので縣下一般に滯納者は著敷減少したのであるが遺憾ながら縣下百八十二ヶ町村の大部は今に公課の滯納に苦しんで居るのであつて公課完納迄にはまだ多少の距離があるので事実である隨て一般に貯金の増加等に至りては未だ之と云ふ反映を見るに至らないのであるそして公課にてすら以上の通であるから電燈料の不拂、延滞等は推して知るべきでつるが最近完納の村が二ヶ村を見るに至り又電燈數の減少傾向は一時靜止の状態となつた而已ならず中には逆に復活に盛り返しつゝある村が三ヶ村程出來て来たそして少しく且先の變つた方面では西伯郡大幡村に於ては昭和六年には成牛百九十九頭犢六十六頭であつたが今日では成牛二百九頭犢八十五頭に何れも増加して農村生産力の基礎が充實したのは誠に喜ばしき現象である又東伯郡小鹿村に於ては窮地に喘ぎつつありし某製材會社は其製產品搬出路の一部が今回改修

せられたるに力を得て俄に活躍を見るに至り又岩美郡大茅村の如きは今回の道路改良に依り一ヶ年間運賃の差八百十圓に上り單に木炭のみでも一ヶ年間三百六十圓の手取り金を増す様になつて村民の生計上に及ぼす效果は永久に亘り甚大なるものがある一般に此種の事業效果は枚舉に遑がないので此邊で止まる事とします尤も漁村に於ては港灣、船溜等の工事施行に依り漁獲高を頓に増加せし筈なるも茲に

數字的に報告するの時機に達して居らぬから之は他日に譲る事とする。

以上各種の事例は何れも匡救事業の惠澤に外ならないの

であつて農山村振興の緒光を見るに至つた事實を有力に物語るものであります。

然るに本縣農山漁村今日の窮乏は其因て來る處が相當久敷に亘り且つ其の程度が已に膏肓に入つて居るものが多いのであるから今後續而特別の救濟を得て相當の水平線迄引揚げてやらなくては折角七年度の事業の御蔭で芽生たる更生の緒光をして再び元の状態に逆返りを見る虞がある故に非常時局匡救の眞の成果を擧ぐるは寧ろ今後の爲政と官民一致の努力に俟たねばならぬと深く信するのでありますから一言之を附記して此稿を納むる事と致します。